

やさしい建築撮影の手引き(基本編)

基本編：スマホでもデジカメでも、建築写真をきれいに撮るための4つのステップ

基本ステップ1：撮り始める前の準備が大切！

撮り始める前に、ちょっと待ってください。きれいに整えられていますか。ポートレートでも、建築でも、料理の撮影でも、最初に大切なのはスタイリングです。プロは撮る前のスタイリング、チェックにじっくり時間をかけます。

机はまっすぐですか？椅子はきれいに並べられていますか？シーツやカバーはきれいですか？不要なコードは出ていませんか？時間を表示するような置時計、カレンダーなどは片づけていますか？その他ゴミ箱や写す必要のないものはきれいに片付けられていますか？水道の蛇口は曲がっていませんか？シャワーのホースは曲がっていませんか？



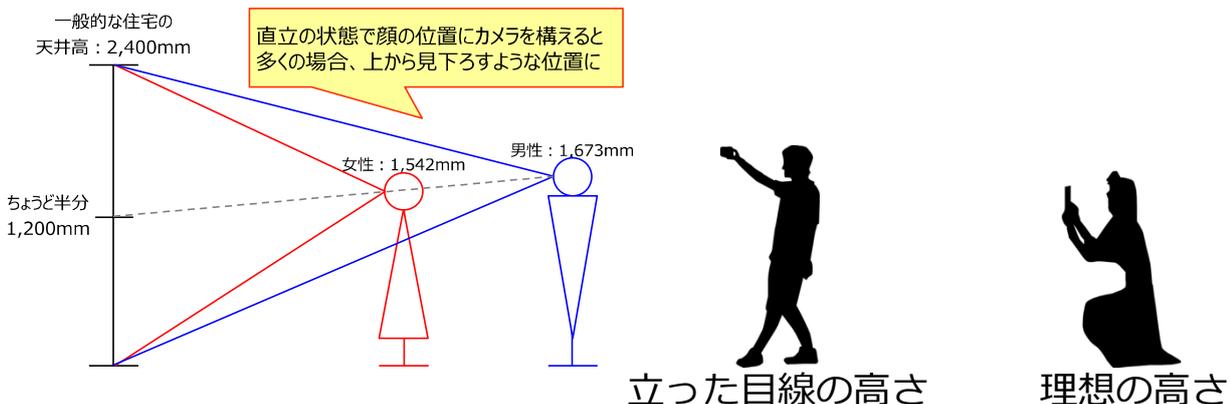
家具や小物を入れて撮影したほうが、より具体的なイメージに繋がります。

きれいにベッドメイキングをして、整えてから撮影した寝室の例

基本ステップ2：アングルの高さを直そう！

スマホで撮るときに立ったままの姿勢で構えていませんか？これが不自然な見え方の原因の1つです。アングルが高すぎます。

☆ワンポイント！プロの撮り方 撮るときのアングル(高さ)はもっと低いです。リビングや寝室、子供部屋などを撮るときの高さの目安 床から天井までの真ん中のところにレンズを構えます。天井高2400mmであれば、1200mm～1300mmにレンズを構えるイメージです。



基本ステップ3：きちんと構えて、水平・垂直はきれいにまっすぐに撮ろう！

水平・垂直がまっすぐに撮れるようになるためには・・・

手順1：水平をまっすぐにする

手順2：水平はそのままに、左と右の端を見てまっすぐにする

※スマホやカメラの設定で必ずグリッド線（格子線）を表示させて調整してください。



水平・垂直が曲がった状態

手順1：水平をまっすぐにする

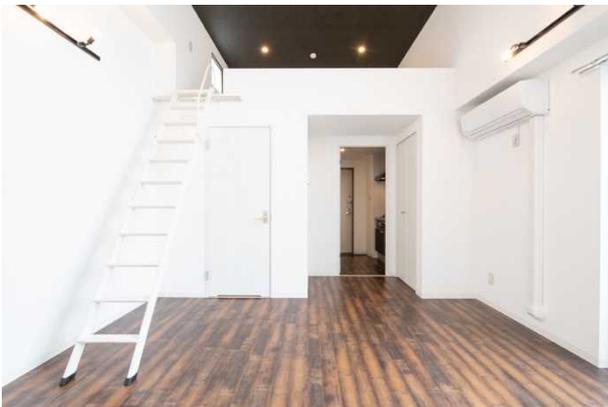
手順2：左右の端を見て垂直を
まっすぐにする

基本ステップ4：明るさや色味の違いでイメージを作りましょう！

日光が燦々と差し込むリビング、落ち着いた雰囲気のと室、明るい雰囲気のある趣味の部屋、ダウンライトの寝室など部屋のタイプによる明るさの違いに気をつけてみましょう。

スマホ、カメラとも露出補正やホワイトバランスの機能を使うと便利です。

また、撮影の際に暗いからと言ってフラッシュを使用するのはNGです。自然光で撮影してください。



明るい白を基調としたリビング
窓からの光が差し込む明るいリビングなど



落ち着いた雰囲気のと室
ダウンライトの照明のキッチンなど

以上の4ステップをベースに綺麗な竣工写真を撮影しましょう。

